

砂川市少年の主張大会 ～発表者の主張全文紹介②～

優秀賞「あたりまえの日常を取り戻すために」 石山中学校2年 石垣 歩乃香



みなさんは、大切な人を急に亡くしたことがありますか。

私は、去年ひいおばあちゃんを亡くしました。病院に入院していたひいおばあちゃんは、ひと月に1回ほど会いに来る私に、いつも手作りの小物入れなどをくれて、

「もっと長生きできるように頑張るからね。」

とっていました。

しかし、新型コロナウイルスにより、お見舞いにもなかなか行けなくなっていた時、亡くなったことを知りました。それを聞いた時は、びっくりしたのはもちろん、かなりの衝撃がありました。こんな世の中だったとしても、もっとひいおばあちゃんに会いに行くことができたんじゃないか、もっとたくさん話をしたかったという気持ちが後悔となって、心に残っています。

よく「人は、いつ、何が起こるか分からない。」などと言われますが、今回のことで本当にそうなのだと強く思いました。

私とひいおばあちゃんの面会を引き裂いた新型コロナウイルスですが、現在も世界中に広がり、たくさんの人が感染したり、家族と会えなくなったり、亡くなったりもしています。

今も「緊急事態宣言」が出されている都市があります。北海道も徐々に一日の感染者が増えてきている状態です。(※)

更に、変異した新型コロナウイルスは、今までのものよりも感染力が強くなり、若い人でも重症化すると聞いています。

それなのに、世間では大人数で会食を行ったり、連休だから遊びに行こうとしたり、遅い時間までお酒を飲んだりしています。これはまだ、ワクチンの接種が十分でない日本での話なのです。

去年、私たちは入学から2週間ほどで、学校が臨時休業になってしまいました。中学校の勉強がどのようなものかわからず、せっかく入った部活も何もしないままでした。

学校が再開した後もたくさんの行事が中止になりました。私たちは、中学校の行事にはどのようなものがあるのか2年生になった今でもわからないのです。そして、私たちは、普段の生活でも必ずマスクをし、給食でも「黙食」を徹底しています。

その他にも、毎年会っていた札幌のいとこに会えなくなったり、札幌や旭川へ買い物に行くこともできなくなっています。

このような生活になってしまったことに対して、悲しいなあとか残念だなあという気持ちはもちろんありますが、これは、すべて自分を含めた大切な人を守るための行動なのです。

私たちもいろいろ我慢をしています。大人の皆さんも我慢してください。今の我慢がみんなの大切な人を守ります。少しでも早く新型コロナウイルスに心配しないあたりまえの日常を取り戻し、大切な人を守るために、大人も子供も今は我慢しましょう！

あたりまえの日常を取り戻すその日まで、がんばりましょう！

(※この主張文は4月下旬に書かれたものです)

審査委員からの講評

社会へのメッセージを伝えようとする思いが、とてもよく感じました。大切な人を守るための行動を訴える内容が、世の中への主張として受け止めることができました。